

第2次 いきいき西区ささえあいプラン 取り組み事業評価シート

資料2

〔評価の指標〕 A. 目標を達成（100%） B. ほぼ達成（80%以上） C. 一部達成（80%未満） D. 未着手

基本目標1 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

NO	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値（H32）	H27実績	R2実績	自己評価	評価理由	今後の課題と方向性
1	地域包括ケアシステムの構築	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向けて、住民組織やボランティア団体、NPOなどの多様な主体による生活支援・介護予防サービスの創出を推進します。	西区健康福祉課 地域福祉係 高齢介護係 西区社会福祉協議会	/	西区支え合いのしくみづくり会議（協議体）の設置、生活支援コーディネーターの選出	○住民主体の訪問型生活支援サービス：2か所（累計） ○週1回開催の地域の茶の間：26か所（累計） ○新規開設の地域の茶の間：24か所（累計）	A	会議の設置や推進員の配置をし、区や社会福祉協議会と協働で啓発や支援を進めた結果、住民による訪問型生活支援サービスや地域の茶の間の新規開設や拡充が進みました。	生活支援や見守り活動について、さらなる充実が必要であり、担い手確保のため多くの住民の参画と企業等、多様な主体との協働が必要です。支え合いのしくみづくり推進員と協働で、支え合い活動への支援、啓発を引き続き進めていきます。
2	高齢者を地域で支えるモデル事業	地域包括ケアシステムの構築と充実を図るため、住民組織やNPOなどが行う高齢者を地域で支える活動を支援します。また、事業の実施にあたっては、高齢者生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の開発支援、ネットワークの構築などを推進します。	西区健康福祉課 地域福祉係	/	実施団体（累計）3団体 ※平成27年度をもって事業終了	/	A	事業は平成27年度で終了し、実施団体は3団体（累計）でした。モデル事業としては、各団体が充実した事業を実施したことから、A判定としました。	/
3	高齢者等あんしん見守り活動事業	見守り支援体制に不安を抱えている自治会に対し、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと協働で、地域の事情に合った見守り体制の構築を支援します。	西区健康福祉課 地域福祉係 西区社会福祉協議会	事業活用自治会（累計） 50自治会	事業活用自治会（累計） 17自治会	/	A	事業は平成27年度で終了し、実施団体は17自治会（累計）でした。目標値は1年あたり、8.3自治会となり、目標が達成されたと判断し、A判定としました。	/
4	高齢者孤立防止訪問事業 （旧名称：「孤立ゼロ作戦訪問事業」H29年度から変更）	75歳以上の高齢者のみ世帯で一人暮らしになった人を専門職が訪問し、保健指導及び孤立防止のための支援をします。	西区健康福祉課 地域保健福祉担当	介護保険サービスや民生委員・児童委員等との関わりのない全世帯を訪問	・年度内に新たに75歳以上となる単身世帯：143世帯 ・介護サービス等を受給していない75歳以上のみ世帯：459世帯	166人	A	訪問対象者に訪問等を実施し、孤立やうつ該当者を早期に発見し、必要なサービスや受診につなげるなど、対象者の状況に応じた支援が実施できました。	孤立防止のためには、近隣の緩やかな見守りや多様な集いの場などが重要で、地域で支え合う環境の充実が必要です。本事業の成果や課題について関係機関と共有・検討しながら、取り組むことが求められます。
5	子ども・子育て支援新制度の推進	「子ども・子育て関連3法」に基づく、幼児期の学校教育・保育や、放課後児童クラブなどの地域の子ども・子育て支援を総合的に推進します。	西区健康福祉課 児童福祉係 こども支援係	/	保育園 3園開園 放課後児童クラブ 2施設増設 病児保育 1施設開設	・くろさきバスター子ども園・令和保育園の新設 ・放課後児童クラブ移転施設整備による狭隘化の解消	A	保育施設の新設により、受け入れ定員増となりました。また、新通ひまわりクラブの学校教室移転施設整備に伴い放課後児童クラブ室の狭隘化の解消ができました。子どもたちが健やかに育つ環境整備が進んだため、A評価としました。	・平成30年10月に策定した新潟市立保育園配置計画に基づき公立保育園の統廃合を進めていくことが課題となっています。 ・引き続き、子ども達が地域の中で健やかに育つ環境整備に努めていきます。

NO	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値（H32）	H27実績	R2実績	自己評価	評価理由	今後の課題と方向性
6	NPプログラム、BPプログラムなど、育児支援講座の実施	子育てに不安を感じている親同士が学ぶ講座を実施し、育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりを支援します。	西区健康福祉課 こども支援係	参加者 50組	参加者 80組	参加者 120組	A	開催した講座は定員に達するものが多く、アンケート結果からも育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりの支援を行うことができたので、A評価としました。	育児の不安、孤立感の軽減、子育ての仲間づくりを支援するため、引き続き、各種子育て支援講座を開催します。
7	西区ふれあい・ふゆまつり (H29まで西っ子ふゆまつり)	「ふれ！ふれ！西区ふれあいまつり」と「西っ子ふゆまつり」を統合し、子育て世代だけでなく、年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが楽しめる西区の冬のイベントとして再編して開催する。	西区健康福祉課 こども支援係	/	参加者 3,800人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントを中止決定しました。	A	令和2年度はコロナ禍により中止しましたが、令和元年度まで2,000人を超える規模の参加者から楽しんでいただけていたことから、A評価としました。	当面はコロナ禍でのイベント実施方法の検討を課題とします。R3年度は、秋季に飲食無し・午前中のみ開催の屋外イベント「西区ふれあい・あきまつり」開催に向け準備中です。
8	子ども（親子）の居場所づくり	コミュニティ協議会などの地域組織による子ども（親子）の居場所づくりを支援します。	西区健康福祉課 こども支援係	/	実施団体 9団体	/	A	平成28年度末時点で西区内に8か所の親子の居場所ができ、いろいろな形の子育て支援、交流の場ができたことをもって、事業終了しました。	地域で子育てを支援する機運は定着してきており、今後は研修会やネットワーク構築などの面で支援を行います。
9	子ども学習支援事業	生活困窮の状況にある世帯の中学生等を対象に、週2回学習会を開催します。新潟大学と新潟青陵大学の学生スタッフとともに勉強を進め、学習意欲を高め、高校進学を促進します。	西区保護課	/	学習会開催 102回 参加者 延べ921人	学習会参加登録人数45人 開催回数93回 延べ862人	A	生活困窮者世帯の学習会への参加人数が増加し学習習慣の定着及び学力向上につながることができました。	貧困の連鎖を生まぬよう、子どもだけの視点のみならず、世帯に対する支援も積極的に行います。
10	にいがた安心ささえ愛活動支援事業	地域福祉計画・地域福祉活動計画にあげられた課題の解決に取り組む団体に助成します。	西区健康福祉課 地域福祉係	/	事業活用団体 4団体	/	A	事業は平成29年度で終了し、実施団体は7団体(累計)でした。各団体は、居場所の開設や見守り事業などを実施し、A判定としました。	/
11	区役所におけるふれジョブの受け入れ	障がいのある子どもたちの仕事の体験の場「ふれジョブ」を、区役所で実施します。	西区健康福祉課 障がい福祉係	/	受け入れ人数 2人	受け入れ人数 0人	A	平成26～28年度は受け入れを行いました。平成29年度以降は申込みがありませんでしたので、区役所でのふれジョブは実施しませんでした。	今後も障がいのある子どもたちの仕事体験の場として、申し込みがあれば受け入れを行っていきます。
12	友愛訪問事業	見守りが必要な高齢者等の孤独感解消や安否確認を兼ねて、地域のボランティアや民生委員・児童委員が訪問します。	西区社会福祉協議会	/	実施団体 111団体 訪問世帯 1,594世帯	実施団体 116団体 訪問世帯 1,337世帯	A	新規に活動開始される団体(自治会)もあり、地域での見守りについて広く必要性が理解されていると考えられます。	継続して活動されている団体について、事業の趣旨や目的が形骸化しているという課題があるため、さらに理解を深めていただけるような側面支援が必要です。

NO	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値（H32）	H27実績	R2実績	自己評価	評価理由	今後の課題と方向性
13	おせち料理配食事業	友愛訪問対象者（見守りが必要な高齢者世帯等）に、12月30日に見守りを兼ねて訪問し、おせち料理を配ります。	西区社会福祉協議会		配食数 1,678食	配食数 1,332食	A	地域のボランティアの協力のもと、歳末時期の見守りとして大切な役割を果たしているものと考えます。	食事業ではなく見守りが主眼であるという点を大切にしながら取り組み、地域の中でのつながり作りに貢献していきます。
14	敬老祝会助成事業	75歳以上の高齢者の長寿を祝う敬老祝会を実施する自治会やコミ協に対し助成します。	西区健康福祉課 地域福祉係		事業活用団体 52団体	事業活用団体 10団体	A	令和2年度はコロナ禍の中、地域活動の自粛の結果、事業活用団体数が減少となりましたが、令和元年度と平成27年度と比べると16団体の増加となったことから、A評価としました。	令和3年度は事業休止
15	地域ふれあい事業助成	自治会、町内会等の世代交流や高齢者等の生きがい推進につながる交流事業を助成します。	西区社会福祉協議会		事業活用団体 68団体 122件	事業活動団体 17団体 33件	A	コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は活用団体が減りましたが、令和元年度までは活用団体は微増傾向です。地域の多世代交流や生きがい促進につながっています。	隣近所との関係が希薄化するなか、地域のつながりを意識的に作っていく活動が必要です。お手紙や物品を配りながら見守り活動をする等、集いに出てこれない方等より多くの方が関われる活動の工夫が必要です。
16	元気力アップ・サポーター制度	高齢者がサポーター活動を通じて自身の介護予防の推進と社会参加を目的としたポイント還元制の事業です。	西区社会福祉協議会		受入協力機関 76事業所 サポーター 318人	受入協力機関 96事業所 サポーター 507人	A	ボランティアや社会参加に関心のある高齢者は多くおり、年々サポーター数は増えています。サポーター活動を通じて高齢者の社会参加と介護予防の推進に繋げることができたと考えます。	コロナ禍において、交流の場が失われたことで、心身ともにバランスを崩す高齢者が見受けられます。また受入施設にとってもサポーター不在の弊害が出てると聞いています。本事業のPRを促進し、応援事業も充実させていきます。
17	地域の茶の間助成事業（ふれあい・いきいきサロン）	身近な地域で気軽に集まり交流する居場所づくりを支援します。	西区社会福祉協議会	事業活用団体 50団体	事業活用団体 52団体	事業活動団体 55団体 申請したが、活動せず助成金をすべて返還した団体15含む	A	期間中、新しい週1タイプの助成制度ができて移行した茶の間を含めると茶の間数は増加しています。閉じこもりの防止、活動意欲の向上、地域の情報共有が図られ、支え合う地域づくりにつながっています。	代表者やスタッフの高齢化によって茶の間継続が困難になる事例が見受けられます。また、女性の参加は多いのですが男性の参加は少ない傾向です。多様な方が居心地よく過ごせる地域の茶の間のあり方の検討が必要です。
18	子育てサロン事業助成	子どもたちが一緒に遊び、交流する場、未就学の子どもの持つ親の情報交換、気分転換の場など、定期的に子育てサロンを実施している団体に助成します。	西区社会福祉協議会	事業活用団体 12団体	事業活用団体 6団体	事業活動団体 6団体 申請したが、活動せず助成金をすべて返還した団体2含む	B	活用団体数はほぼ横ばいですが、他の助成制度に移行した子育てサロンもあるので、全体数は増加しています。	コロナ禍での活動等それぞれの団体に活動が滞っている様子が伺われました。助成の種類や有無に関わらず、子育てサロンに取り組む団体同士のつながりづくりが必要です。

NO	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値（H32）	H27実績	R2実績	自己評価	評価理由	今後の課題と方向性
19	まごころヘルプ事業	家事援助など日常生活支援を行う住民参加型のサービスです。	西区社会福祉協議会		会員 469人 ヘルプ時間 7,229時間	会員 320人 ヘルプ時間 5,109時間	B	実績数字は減少していますが、活動内容が可能な依頼についてはほぼ対応しています。高齢者支援だけでなく、子育て世代の支援なども、提供会員はやりがいをもって活動しています。	提供会員の増加に努めるとともに、個々の支援から気づく多様な問題点について、他機関との連携を図り、みんなで支えるしくみづくりに努めていきます。
20	歳末たすけあい事業	歳末に地域コミュニティで行われる世代交流事業に助成します。	西区社会福祉協議会		事業活用団体 68団体	事業活用団体 11団体	B	コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は活用団体が減りましたが、令和元年度までは活用団体数はほぼ横ばいです。地域の多世代交流や生きがい促進につながっています。	隣近所との関係が希薄化するなか、地域のつながりを意識的に作っていく活動が今後とも必要です。
21	地域交流貢献事業（出前講座）	自治会、コミ協に職員が出向き、認知症サポーター養成講座や防災訓練などを実施します。	西区社会福祉協議会		開催数11回 参加者 280人	開催数 5回 参加者 84人	A	R2年度はコロナ禍で回数は減りましたが、毎年様々な内容で開催しており、地域や企業等の福祉の学びについて支援をしました。	今後も、地域団体等のニーズに合わせて開催していきます。
22	福祉教育の推進	小・中学校、大学、企業等からの依頼により、福祉全般に関する教育を実施します。	西区社会福祉協議会		・小学校 12校 ・中学校 3校 ・専門 1校 ・大学 2校 ・ひまわりクラブ 1クラブ	利用団体 ・小学校 6校 ・中学校 1校 ・大学 1校	A	R2年度は新型コロナウイルスの影響により依頼が激減したものの、今だからこそその手法で、今だからこそ考えて欲しい「福祉」を丁寧に伝えることが出来ました。	今後は、感染症予防対策に留意した体験授業やオンラインを駆使した交流などを考案します。
23	おもいやりのひとかき運動	主要な場所に除雪用のスコップを設置し、バスや信号待ちの人達から、ひとかきの除雪に協力していただく運動です。	西区社会福祉協議会		設置箇所 98ヶ所	設置箇所 105ヶ所	A	新規設置箇所も含め、自治会より運動の理解を得て、設置することができました。	自治会の理解を得ながら、新潟市と協力して運動を展開します。